

『核抑止力』こそ神話

藻谷浩介さん

藻谷さんは『里山資本主義』の著者でもあり、南知多町にも平成31年4月15日に講演に来られています。

今回の記事の中で、「・・・数十年來、旧ソ連や米国などの覇権主義を批判し続ける日本共産党の一貫性を評価します。」と、藻谷さんは述べられています。

平和国家は世界ブランド

ロシアによるウクライナ侵略を受けて、一部政治家などの改憲論者が9条改憲を強調しています。ですが、ウクライナは、平和憲法を持っていて攻められたのではないのです。憲法に何を書いても、プーチンのような者の跋扈を阻止できるわけではありません。

そもそも憲法は自国の権力を縛るもので、他国の権力を縛るものではありません。「国を守るために改憲を」

憲法9条 今こそ

日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介さん



(本人提供)

もたに・こうすけ 1964年山口県生まれ。日本の地域エコノミスト。日本総合研究所調査部主席研究員、日本政策投資銀行地域企画部特別顧問(非常勤)。

というのは「言霊信仰」そのもの。憲論者やリアリストと称する人たちが「敵基地攻撃能力」の保有や「核共有」の議論だとか主張するのを聞いている

核抑止は神話

ウクライナの惨状は、戦争は大量殺人・大量破壊だという現実を突きつけました。改

6月町議会が始まります

内田たもつ議員は、6月議会で、3つの問題を取り上げ質問します。

- ① ワクチンによる健康被害の救済を迅速に
新型コロナウイルスのワクチン接種による副反応に苦しむ国民が多くいます。本町の実態と救済について質問します。
- ② 町内戦争遺跡の調査・保存・活用を
今現在ウクライナで戦争が行われ、日々その被害が伝えられています。今こそ未来の子どもたちへの平和教育が必要です。本町には先の戦争の遺跡の貴重な資料が残っています。その調査と保存、活用について質問します。
- ③ 今後の学校部活動改革の方向性とその準備について
学校はブラック企業と言われて久しいですが、その原因の一つが学校部活動にあります。国や他市町村が次々と部活動のあり方の改善を図る中、本町の姿勢を問います。

<予定>

- 14日 本議会初日
- 15日 一般質問
- 17日 文教厚生委員会
- 21日 総務建設委員会
- 24日 本会議最終日

* 町民の皆様のご意見、ご要望をお寄せください。また、当日お気軽に傍聴にお出かけください。

全ての戦争は、「自衛のため」にやむを得ず先制する」と言い訳して始まります。今回ロシアも、イラクでのアメリカも同じでした。そして侵略された側はもちろん、侵略側の兵士も命を落とします。

そうした言い訳を封じ、いかなる理由があっても先制攻撃を禁じているのが憲法9条です。私は先制を受けての自衛はやむを得ず、憲法も認めていると考えますが、であればその9条を世界に広めるべきだと思っています。

「自分からは侵略しない」と明言する国を一つでも増やすことが、この世界を少しでも安定させることにつながります。逆に「核抑止力」こそ神話です。自国民の命を軽んずる独裁者は、核を持つ国で

近隣国と連携

リアリストとして日本の平和を守るために提言したいのは、東アジアの近隣諸国と戦略的に連携していくことです。連携すべき国々には、過去に日本軍に支配された経

験があります。民族としての存在を否定された国、膨大な死者を出した国も多い。その国々が今の日本と付き合おう

と思うのは、「軍」のにおいがしないからです。その意味でも憲法9条は極めて大事です。

「大東亜戦争はアジア解放の聖戦だった」などと言うのは、プーチンを正当化しようとするロシアの宣伝と同じで、日本の信頼を損なうだけです。

「自衛はするが先制はしない」という私のような議論にも注目していただいて、あげようございました。私も数十年來旧ソ連や米国などの覇権主義を批判し続ける日本共産党の一貫性を評価します。

(聞き手・若林明)